

# 災害対策関係者研修

人工呼吸器等医療的ケアを必要とする患者は、災害時や緊急時にライフラインが途絶えることにより、生命の危機に脅かされるおそれがあり、平常時から災害時の備えをすることが必要です。また、患者や家族が、災害発生直後を自助で対処できるように平常時からの備えや対処方法について関係者が支援していく必要があります。

今回は、在宅療養を支援する関係者が、医療的ケアを必要とする患者の災害対策や平常時に求められる役割について学びます。

★ 日 時 平成25年11月12日(火) 13時30分~16時

★ 内 容

講演 「在宅人工呼吸器装着患者の災害対策」

~私たち支援者に何ができるか~

一般社団法人京都府臨床工学技士会 災害対策部 井上 勝哉 氏

## 医療機器の体験学習

人工呼吸器、外部バッテリー、アンビューバッグ、手動・足踏み吸引器など

★ 会 場 和歌山県立情報交流センターBig・U 研修室1

和歌山県田辺市新庄町3353-9

★ 対象者 保健・医療・福祉・教育の支援関係者

★ 受講料 無 料

★ 定 員 50 人

★ 申込み 11月8日(金)までに研修名、氏名、電話番号、参加人数を電話またはFAXで、お申し込みください。

★ その他 当日、講演内容をビデオ撮影いたしますのでご了承ください。

和歌山県難病・子ども保健相談支援センター(担当：植(うえ))

和歌山市紀三井寺811-1 和歌山県立医科大学附属病院3階

TEL：073-445-0520

FAX：073-445-0603